

# 「キャリア形成促進プログラム」の実践事例

## 事例 「教育・社会福祉専門課程 精神保健福祉科」 (京都府、学校法人滋慶京都学園 京都医健専門学校)

4年制大学卒業等や一定の社会人経験を積んだ者を主な対象とし、専門的な知識及び技術が身に付け新たなキャリア形成を促進することを目的としている。

### 概要

- ・ 相談援助力を数値化することで、学生それぞれの課題を明らかにし、強化すべきポイントに的確に指導。
- ・ 実践力の強化を目指し、現場と協働して専門職を養成。

#### [特徴]

- ・ 根拠に基づいた実践ができるよう科学的思考と当事者理解を重視し、適切な支援ができる判断能力を習得。
- ・ 精神保健福祉を実践するための基盤となる教養と人間・環境・健康・倫理・福祉に関する基本的な知識・技術を修得。
- ・ 国家試験へのモチベーションの維持と精神保健福祉に関する高い専門知識を身につける。
- ・ OSCE (客観的臨床能力試験)
- ・ 社会人受講者数19人/25人 (2020年度)

#### 【社会人が受講しやすいための工夫】

夜間1年生のプログラムであり、またワーク&スタディ制度を活用し働きながら国家試験を目指せる工夫を実施。

### 主なカリキュラム

#### [演習・実習指導]

- ・ 面接場面のロールプレイやケース検討を実施。
- ・ ソーシャルワークにおけるOSCEを開発及び実施。
  - インテーク面接：面接技術の評価
  - ケース会議：アセスメント能力の評価
  - ケース記録の記載：課題分析と支援の組み立てを評価
- ・ 実習計画を立てる段階から実習指導者と教員が連携した指導体制を構築。  
※実習先が遠隔地の場合はZoom等オンラインツールを活用。

#### [科目講義]

- ・ 現場の精神保健福祉士を招いた特別講義を実施。
- ・ 2020年度は、コロナウイルス感染対策のためオンライン授業と対面授業併用で実施。

